

2024年3月13日

データ駆動科学教育研究センター運営委員会

2023年度「数理・DS・AI教育プログラム」自己点検・評価結果

数理・データサイエンス・AI教育プログラム(リテラシーレベル)の自己点検評価項目にしたがい、以下の項目について点検評価を行った。

【学内からの視点】

教育プログラムの履修・修得状況、学修成果に関する事項

昨年度までのカリキュラムでは、国際文化学科のみで必修科目とし、その他の学科は選択科目として履修可能とされていた。そのため、全学的な履修比率は低かった。しかし、本年度実施したカリキュラム再編により、本教育プログラム(リテラシーレベル)の申請科目「データサイエンス概論」は、すべての学科で必修となり、全学生が履修することとした。なお、単位認定されなかった者も卒業までに修了することとなる。

[対象学生に対する履修者(修了者)数の比率]

科目名	対象	対象学生数	履修者数 (修了者数)	比率
データ サイエンス 概論 ※1年前期開講	国際コミュニケーション学科:必修	64	64 (59)	100% (92.2%)
	健康栄養学科:必修	43	43 (42)	100% (97.7%)
	デザイン環境学科:必修	59	59 (54)	100% (91.5%)
	(全学科)	166	166 (155)	100% (93.3%)

学生アンケート等を通じた、学生の内容の理解度・他の学生への推奨度に関する事項

本プログラムを含む、すべての授業を対象とした学生アンケートを実施し、学生による授業評価・理解度等について把握している。学生アンケートの結果は、印刷物を図書館等に設置し、全学生ならびに全教職員に周知している。

全学的な履修者数・履修率向上に向けた計画の達成・進捗状況

今年度実施したカリキュラム再編により、本教育プログラム(リテラシーレベル)の申請科目は、全学科で必修となったため、本学の学生は卒業までに本教育プログラム(リテラシーレベル)の申請科目を必ず履修することとなる。

【学外からの視点】

教育プログラム修了者の進路・活躍状況、企業等の評価に関する事項

本教育プログラムの修了学生は非輩出のため、進路・活躍状況、企業等の評価を把握できていない。ただし、近隣の関連企業（就職実績があり継続して採用計画のある企業など）に対しては、企業訪問を実施しており、本教育プログラムの実施については評価していただいている。今後、本プログラムの修了者についても状況把握を行う予定である。

産業界等社会からの視点を含めた、教育プログラム内容・手法に関する事項

本学では自己点検報告書に基づき、定期的に外部評価委員の方の現地調査を受けている。また、外部評価とは別に、令和2年12月には本学運営委員会の外部有識者を含む意見も踏まえ、令和2年12月には「岐阜市立女子短期大学ビジョン」として、短・中長期計画を発表している。本プログラムは、この「岐阜市立女子短期大学ビジョン」に同調し計画されたものである。また、このビジョンを実現すべく、2023年1月に「データ駆動科学教育研究センター」を設置し、今後も継続的に産業界等からの本プログラムの内容・手法について意見聴取を行う予定としている。